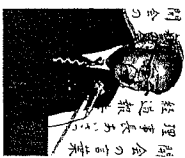




# ゆたか福祉社会40年のあゆみ

## 社会に出て働きたい

1968 ゆたか共同作業所の前身、名古屋ツツワ工場の開設  
1969 ゆたか共同作業所として出発



ゆたか共同作業所代表を務める故本山政雄名古屋市長(1974年)

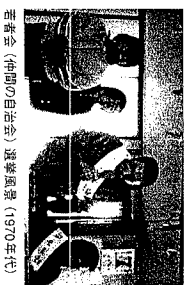
1972 社会福祉法人ゆたか福祉社会を設立し、ゆたか作業所として再出発  
1973 みどり共同作業所の開設  
1976 なるみ作業所の開設



開所当時のなるみ作業所の朝の会(1976年)

1983 つゆはし作業所の開設  
1985 リサイクルのみなみ作業所の開設  
1985 ゆたか作業所の定員増・移転と「サイバー」への入居の開設に伴い、ゆたか障害者労働福祉センターを開業  
1989 リサイクル福祉ショップさわやかの開設  
1989 さわやか共同作業所の開設

## 自分らしく安心して暮らしたい



定例会(中間の自社会)選挙風景(1970年代)

1980 ゆたか希望の家の開設  
1982 ゆたか鳴尾寮の開設  
1987 鳴尾ホームの開設  
1989 ゆたか通院寮の開設  
つゆはし生活ホーム中間の開設  
ゆたかホーム本場の開設



ゆたか福祉社会おびての大「サ」の開催(1980年代に複数回実施)



つゆはし作業所開所時のおびてセンター(1983年)

1991 あかつき共同作業所の開設  
名古屋市委託の資源回収事業の開始  
1992 みなみのふれあい共同作業所がゆたか作業所分場に  
1994 リサイクル急作業所第1の開設  
リサイクル急作業所第2の開設  
1995 さわやか共同作業所がみどり共同作業所分場に

2002 ゆたか作業所分場の定員増・改築に伴いふれあい共同作業所としてスタート  
2005 リサイクルのみなみ作業所の移転  
2006 サイバーへ入居の改称  
ツツワ・ワタナベ・ゆたかの福祉社会へ名古屋市委託の資源回収事業を資源回収のみなみに事業変更  
2007 ツツワ・ワタナベ・ゆたかの共同作業所分場がグループセンターとしてスタート  
2009 サイバーのみなみとゆたか作業所を統合する作業所改築(大清水福祉センターの整備)



ふれあい共同作業所グループセンターグループ

1990 なるみホームひまわり  
生活ホーム二村台の開設  
1991 第一八光荘の開設  
1992 弥次エホームの開設  
1993 第二ゆたかホーム本場の開設  
1994 第二八光荘の開設  
1995 第三八光荘の開設  
1996 浜田ホームの開設  
1997 ホームの中の開設  
1998 ひろめホーム、ハウズ605、元福ホームの開設

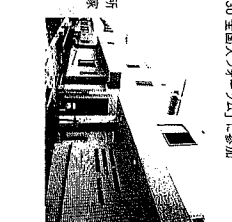


設業福祉村キリッソー

1998～1999 設業福祉村キリッソーの開始  
1998 第二ゆたか希望の家の開設  
1998 ツツワ・ワタナベ・ゆたかの「サイバー」急作業所の開設(身体障害者サイバー急作業所)



障害者自立支援法における新法を求めて「10.30 全国ツツワ」に参加



改築後のなるみ作業所ゆたか希望の家

## 政策・制度・運動

1967 精神薄弱者福祉法改正(精神薄弱者授産施設の新設)  
全国障害者問題研究会(全障研)設立

1975 国連「障害者の権利宣言」決議  
1977 全国障研大会、愛知で開催  
そこで共同作業所全国連絡会(さようざれん)結成

1981 国際障害者年  
1982 「国連」障害者の十年」開始  
厚生省、「精神薄弱者地域生活援助事業」(知的障害者グループホーム事業)開始

1993 日本障害者協会(JD)発足

2000 「社会事業法」から「社会福祉法」に改正  
2003 「支援費制度」開始  
2004 「障害者基本法」改定  
2005 日本障害者フアール(JDF)設立  
2006 日本障害者自立支援法」成立、2006年より施行  
国連「障害者権利条約」採択

1969年に全国で初めての共同作業所として名古屋市南区に誕生。「どんなに重い障害があっても、人間として大切にされ、成長・発達する権利がある」——そんな考えのもと、地域や多くの関係諸団体と協力しながら、制度の拡充をはかり、働く場や暮らす場などをつくりだしてきました。しかしこの40年のあゆみは決して平坦なものではありませんでした。社会保障や福祉の充実を求めて運動を繰り返す人にとってより良い社会になるための追及を止めてきました。積み重ねてきた歴史の中で大切にすべきものを振り返りながら、より素晴らしい明日をめざしていきます。